

帝京大学総合博物館 ミニ企画展

帝京大学メディアライブラリーセンター 稀覯本特別公開 Vol.2

経済学の古典をみる

新たな世界を開いた
古典を「みる」

Economics Classic



会期 2020年 3月19日(木)~9月13日(日)

会場 帝京大学総合博物館 企画展示室

(帝京大学八王子キャンパス ソラティオスクエア地下1階)

◎開催時間：午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
※オープンキャンパスが開催される日曜日は開館いたしません。
開館時間は午前10時～午後4時となります。

◎入館無料
◎閉館日：日曜日・祝日・臨時休館日
◎臨時開館日：オープンキャンパスが開催される日曜日
◎新型コロナウイルス感染拡大防止のため予告なく臨時閉館する場合がございます。
お電話・ホームページ等で開館状況をご確認の上、ご来館下さい。

帝京大学総合博物館 **TUM**
Teikyo University Museum

経済学の古典をみる

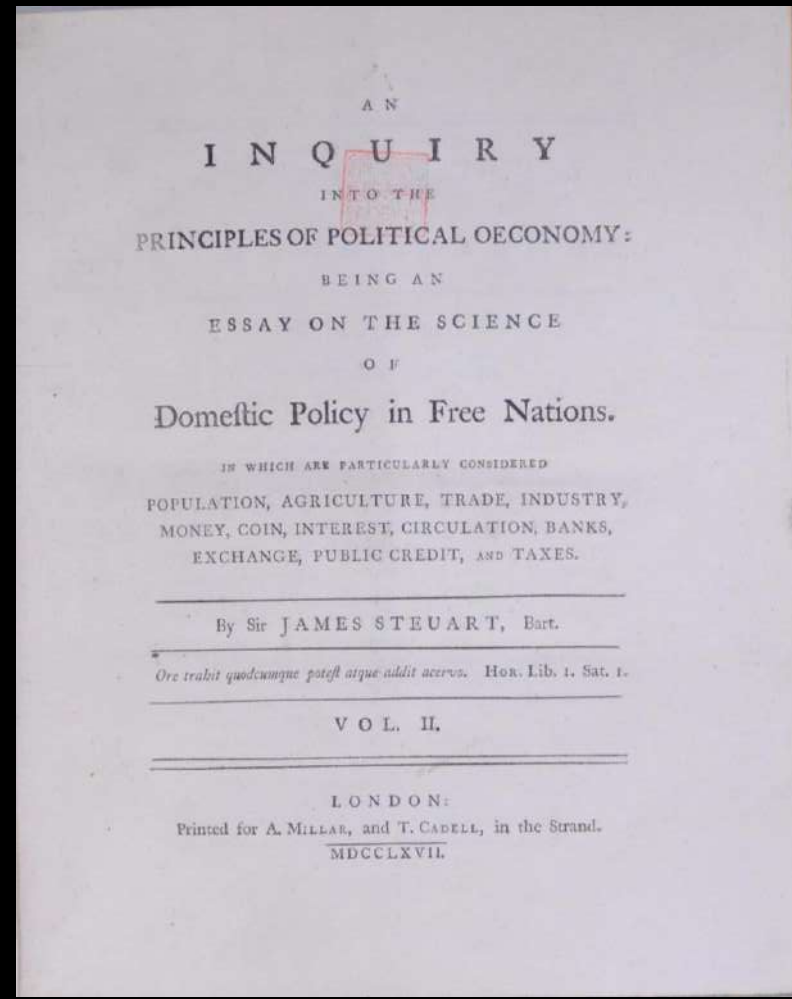
きこうほん

とても古い本や、出版部数がとても少ない本は通称「稀観本」と呼ばれます。それらは珍重され、時には高額で取引される場合もあります。帝京大学メディアライブラリーセンターの地下には貴重書庫と名付けられた部屋があります。そこには、古今東西の稀観本が厳重に保管されています。その中に「経済学の古典」とされる稀観本が多数あります。経済学は様々な経済の現象について、その根本の原因を解明すると同時に、経済社会の基本的な法則を明らかにし、貧困や格差、物価の安定、さらには経済発展の可能性を探ろうとする学問です。帝京大学メディアライブラリーセンターには、この難問に挑んだ歴代の経済学者たちが出版した著作が当時のまま多数保管されています。今回のミニ企画展では、その中から厳選して特別に公開いたします。出版当時の稀観本を通じて社会の新たな世界を開いた経済学者たちの古典を是非ご覧ください。

Sir James Stewart

スチュアート『経済の原理』

ブリテンに
おける経済学の父

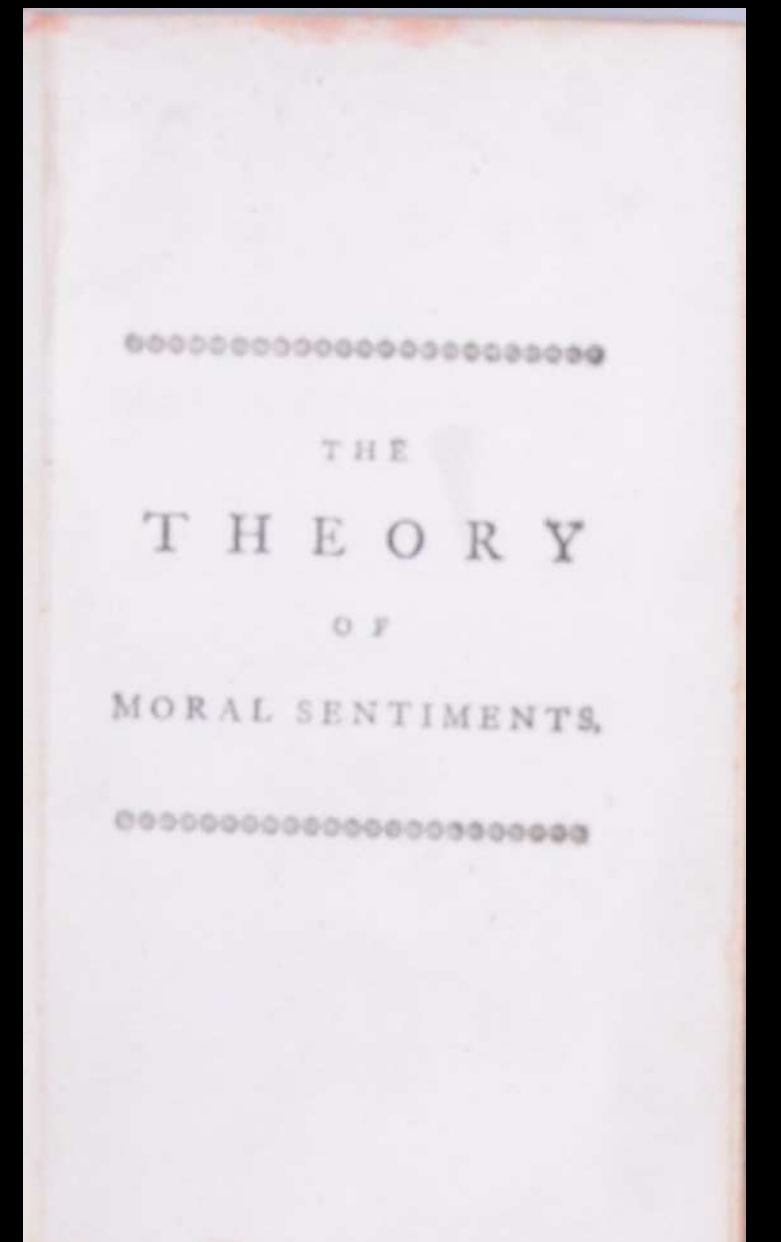
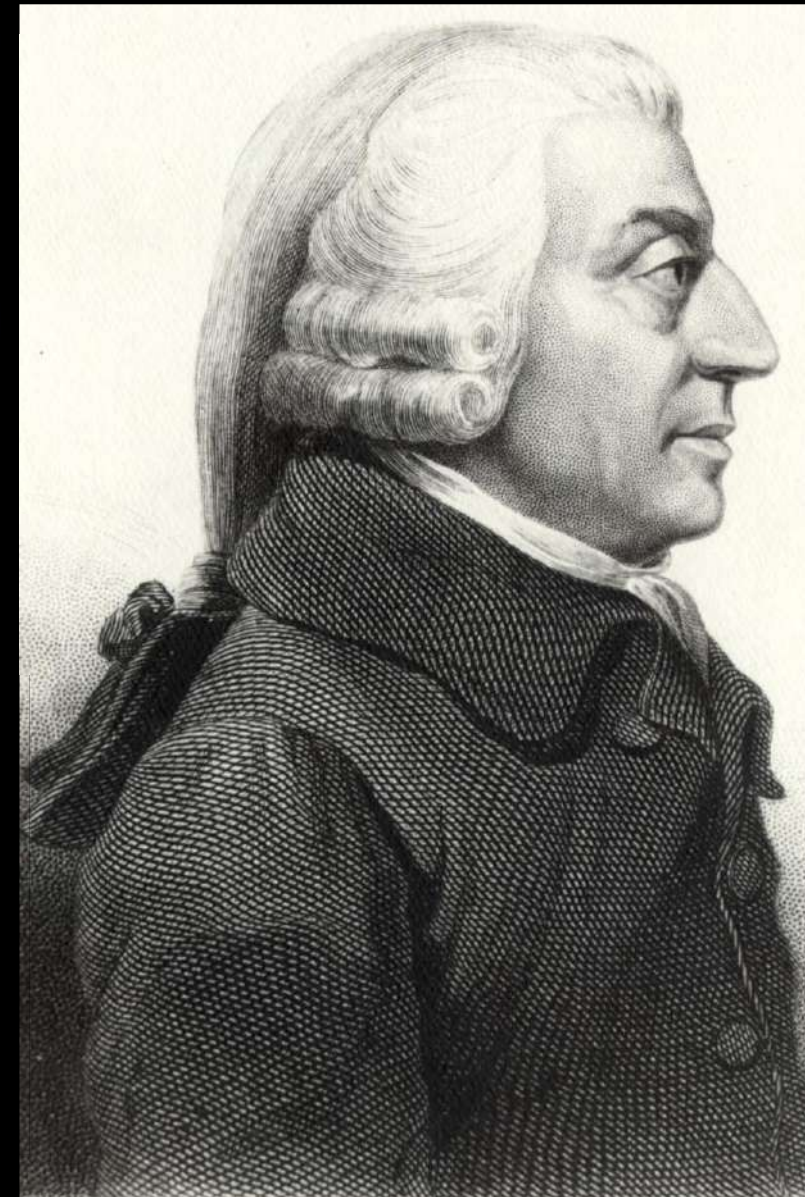


ジェームズ・スチュアート 『経済の原理』初版
1767年
所蔵：帝京大学メディアライブラリーセンター

Adam Smith

アダム・スミス『道徳感情論』

の始祖
古典派経済学

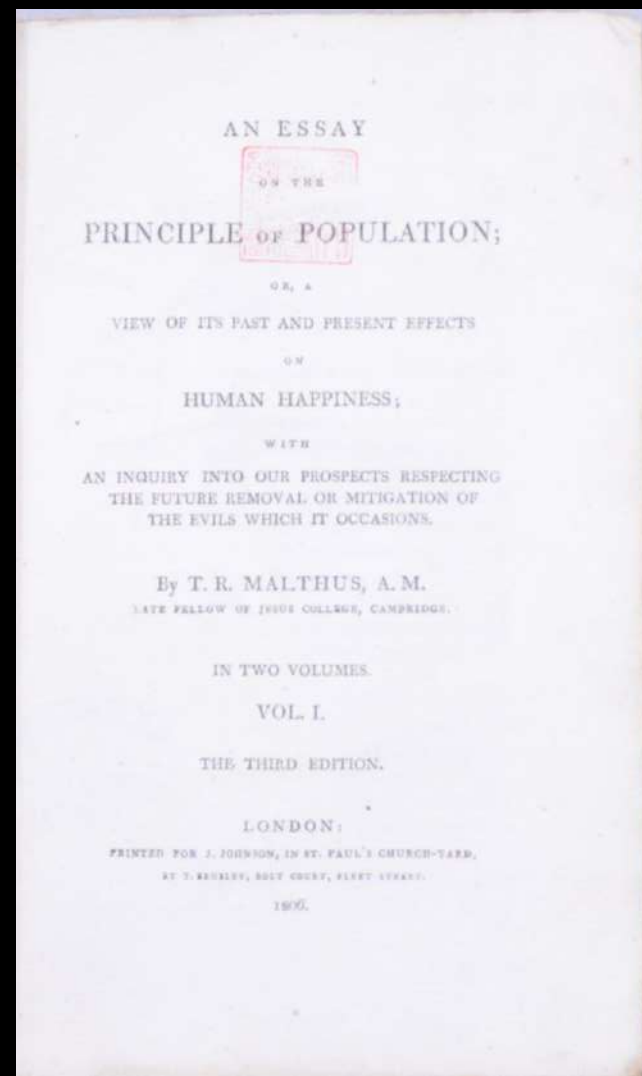


アダム・スミス (1723年～1790年)
『道徳感情論』初版
1759年
所蔵：帝京大学メディアライブラリーセンター

Thomas Robert Malthus

マルサス『人口論』

アダム・スミスの
批判的継承者の一人

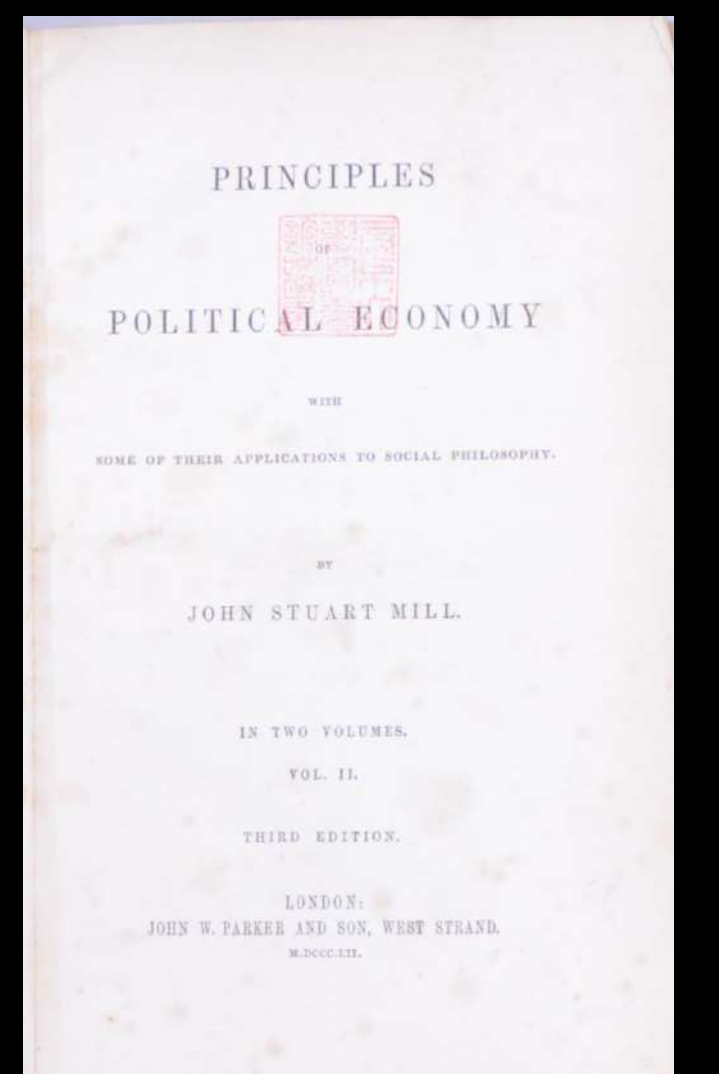
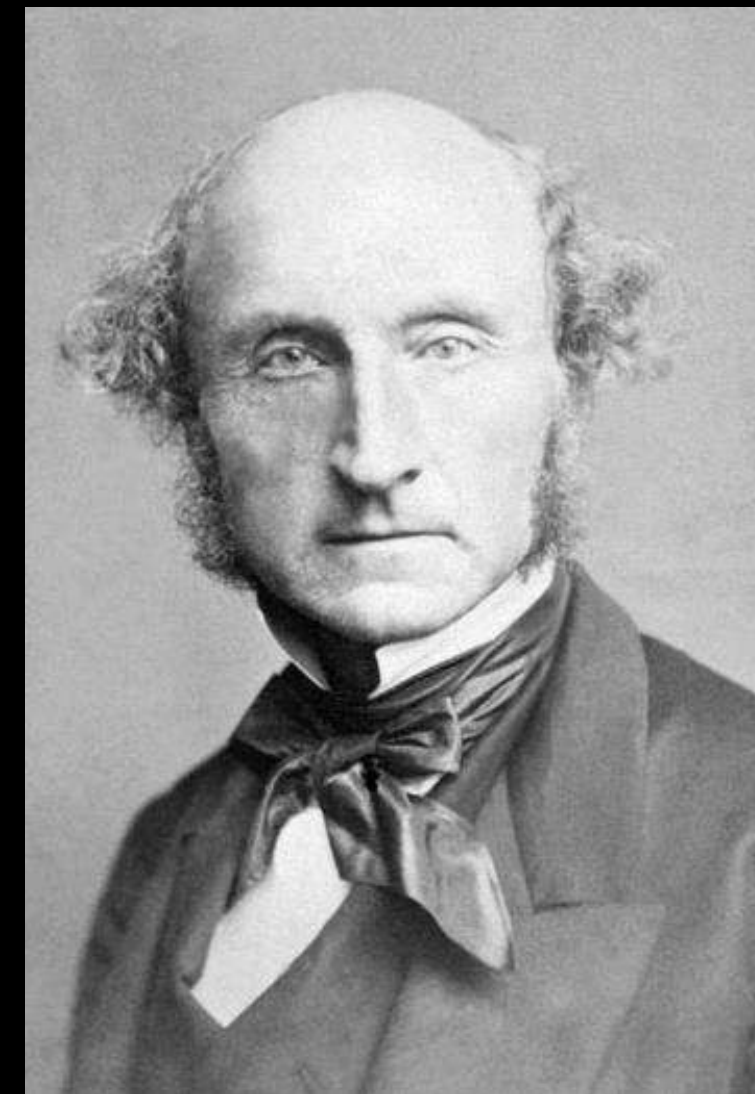


トマス・ロバート・マルサス 『人口論』第3版
1807年
所蔵：帝京大学メディアライブラリーセンター

John Stuart Mill

J・S・ミル『経済学原理』

の集大成
古典派経済学

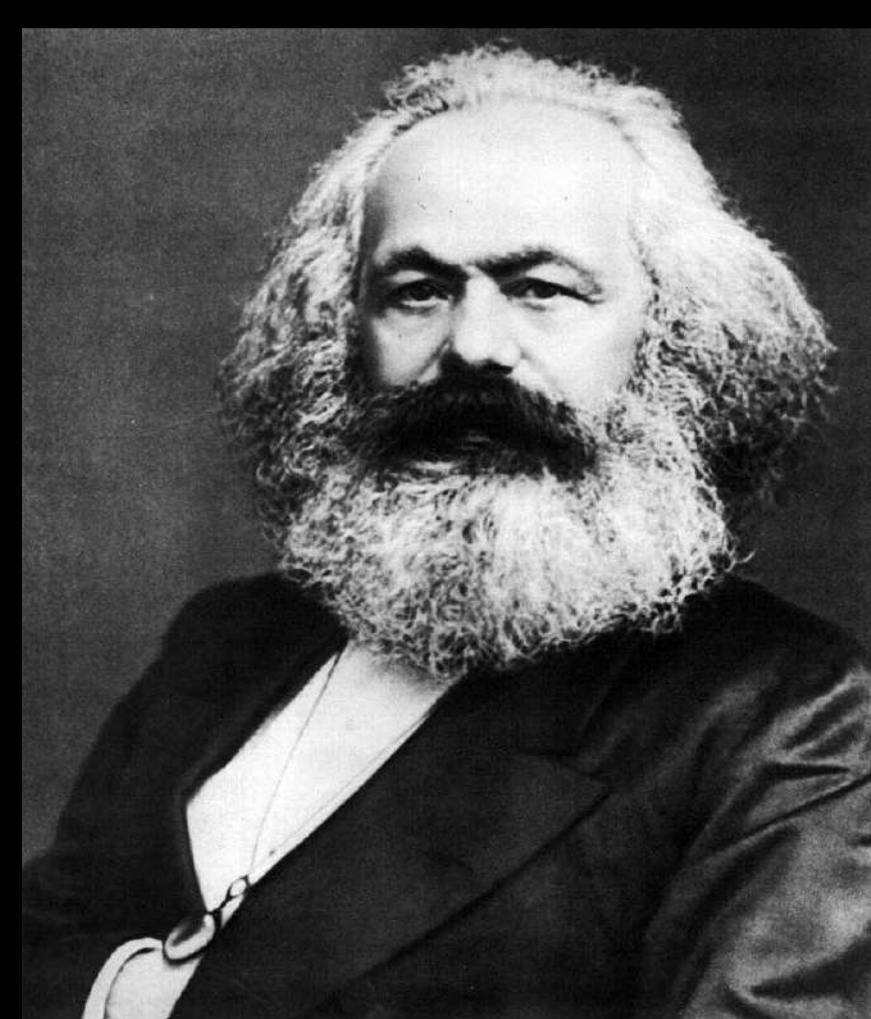


J・S・ミル (1806年～1873年)
『経済学原理』第3版
1852年
所蔵：帝京大学メディアライブラリーセンター

Karl Marx

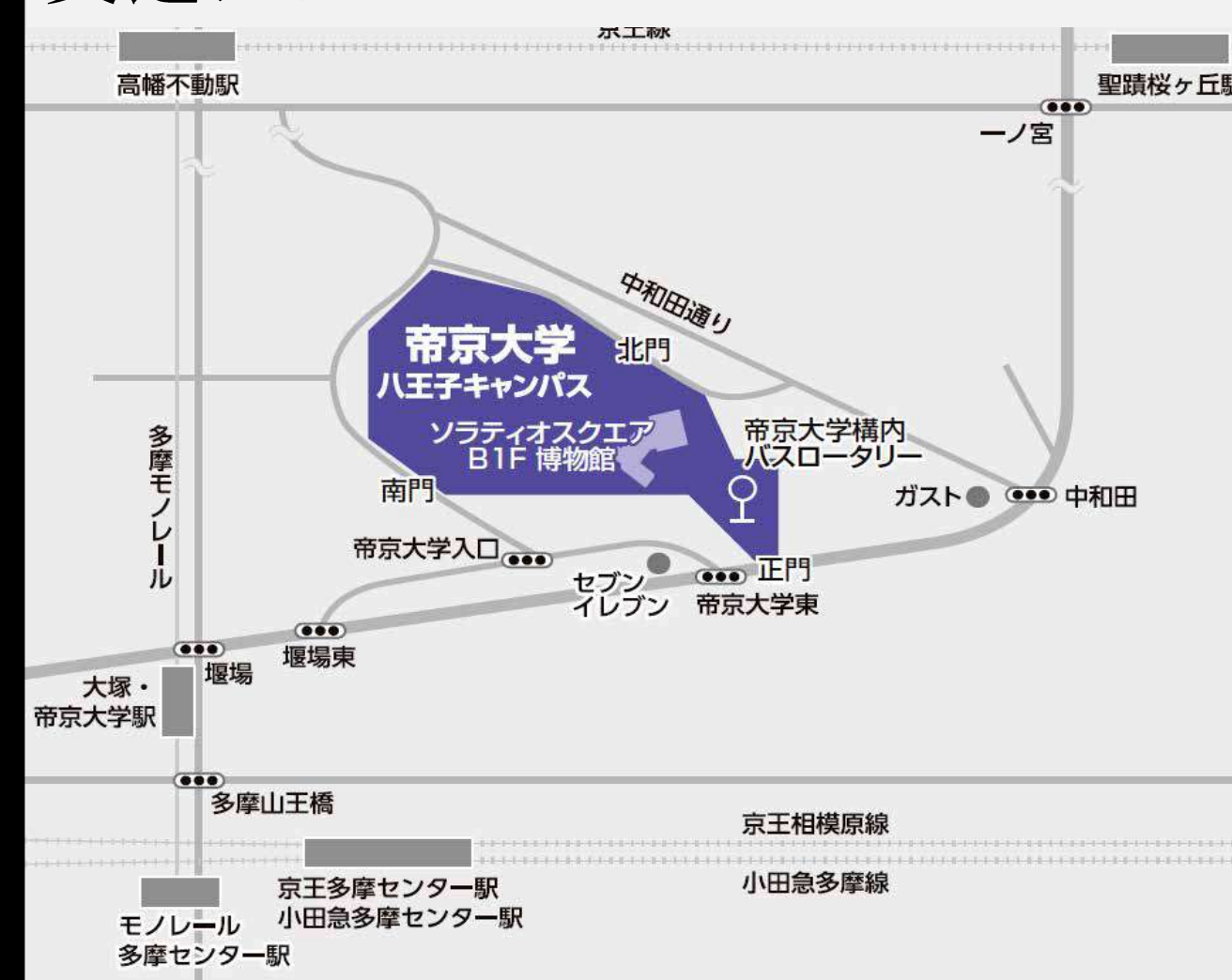
マルクス『資本論』

マルクス経済学
の樹立



カール・マルクス (1818年～1883年)
『資本論』マイスナー版初版
1867年
所蔵：帝京大学メディアライブラリーセンター

交通アクセス



* 大学構内に来館者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
* 高幡不動駅・聖蹟桜ヶ丘駅・多摩センター駅から「帝京大学構内」行きのバスが便利です。
* 車いすでご来館予定の方は事前にご連絡ください。